

# 2005年度の目標と実績

地球の「いきいき」のために

第6次中期経営計画(2005~2007年度)と連動させ、環境目標を設定しました。2005年度は環境目標10項目中6項目を達成しました。目標未達成の主な原因は、1kℓを生産するために必要なエネルギーが多い製品や廃棄物が多く発生する製品の構成比が高まったことや鮮度追求による多頻度小ロット生産によって生産効率が低下したことです。

😊 …目標を達成できました

😞 …目標を達成できませんでした

	2005年度の目標と結果	01年度~05年度の推移	取り組み・達成状況	今後の目標
1	<b>生産部門CO<sub>2</sub>削減</b> 生産量1kℓあたり 2004年度対比 2%削減 ▼ 2004年度対比 8%増加	<b>■生産活動におけるCO<sub>2</sub>排出量</b> 	アルコールの蒸留や洗浄殺菌のために使う蒸気をつくる際に重油やガスを使います。また、生産工程では電力も使用します。日々の省エネ活動やエネルギーの効率利用によりCO <sub>2</sub> 削減に取り組んでいます。 → ガスボイラーの導入や省エネ活動によりCO <sub>2</sub> の削減に努めましたが、エネルギーを多く使用するアルコール蒸留の増加や多頻度小ロット生産による生産効率の低下により増加しました。	2006年度目標 2004年度対比2%増加 ..... 2007年度目標 2004年度対比2%増加
2	<b>物流部門CO<sub>2</sub>削減</b> 販売数量1kℓあたり 2004年度対比 8%削減 ▼ 2004年度対比 2%削減	<b>■物流におけるCO<sub>2</sub>排出量</b> 	工場からトラックや鉄道、船舶等で製品を運ぶ際にCO <sub>2</sub> が発生します。物流の効率化や省エネ運転、モーダルシフトの推進により、物流部門のCO <sub>2</sub> の排出を抑制しています。 → 物流子会社のタカラ物流システムの燃費向上と消費地に近い工場での生産割合を高めることによりCO <sub>2</sub> 排出量を削減することができましたが、目標値には達しませんでした。	2006年度目標 2004年度対比9%削減 ..... 2007年度目標 2004年度対比10%削減
3	<b>生産部門用水削減</b> 生産量1kℓあたり 2004年度対比 14%増加 ▼ 2004年度対比 14%増加	<b>■生産活動における用水使用量</b> 	お酒の原材料として水を使用するほか、装置や容器の洗浄および製品の冷却などにも水を使います。生産工程での水の再利用や節水により用水の削減に取り組んでいます。 → 芋焼酎増産による洗浄用水の増加や、アルコール蒸留増加による蒸留冷却水の増加がありましたが、全体では目標を達成しました。	2006年度目標 2004年度対比8%増加 ..... 2007年度目標 2004年度対比6%増加
4	<b>工場廃棄物削減</b> (副産物含まず) 生産量1kℓあたり 2004年度対比 7%増加 (副産・廃棄物再資源化率99.5%以上) ▼ 2004年度対比 31%増加 (副産・廃棄物再資源化率99.4%)	<b>■生産活動における廃棄物排出量</b> 	工場廃棄物の再資源化に取り組み、副産物を含む再資源化率は高い水準に達しています。現在は酒粕、みりん粕などの副産物を除く工場廃棄物排出量の総量削減に取り組んでいます。 → 芋焼酎増産による芋くずの増加や蒸留廃液の増加により大幅に増加しました。9月に黒壁蔵に飼料化設備を導入したことにより、今後は改善が見込まれます。	2006年度目標 2004年度対比17%削減 ..... 2007年度目標 2004年度対比19%削減
5	<b>オフィス部門電力使用量の削減</b> 2004年度対比 2%削減 ▼ 2004年度対比 4%削減	<b>■オフィスの電力使用量<sup>※1</sup></b> 	事務活動の電力使用量削減は社員の省エネ意識の徹底により実現される、社員の環境意識の浸透度をはかるパロメーターと考えています。 → 必要以上に明るい場所の蛍光灯の一部撤去や空調の適温調整などにより目標を上回る削減を達成しました。	2006年度目標 2004年度対比3%削減 ..... 2007年度目標 2004年度対比3%削減

7:工場副産・廃棄物の用途

	2005年度の目標と結果	01年度~05年度の推移	取り組み・達成状況	今後の目標
6	<b>コピー用紙削減</b> 2004年度対比 3%削減 ▼ 2004年度対比 1%増加	<b>■オフィスのコピー用紙使用枚数<sup>※1</sup></b> 	エコオフィスキャンペーンなどの社内運動を通じてコピー用紙の削減やリサイクルに取り組んでいます。コピー用紙使用量削減は電力と共に社員の環境意識のパロメーターと考えています。 → 2000年以降5年間減少を続けてきましたが、2005年度は1%増加し目標を達成できませんでした。	2006年度目標 2004年度対比6%削減 ..... 2007年度目標 2004年度対比10%削減
7	<b>環境配慮型商品の開発</b> 環境配慮型の工夫・仕組みをもつ商品を2品目以上発売 ▼ 環境配慮型の工夫・仕組みをもつ商品を5品目発売		製品仕様はすべての環境問題の方向性を決定します。宝酒造では環境配慮型商品を開発、発売していくことで消費者の皆様の手に渡ってからの環境負荷も削減したいと考えています。 → タカラcanチューハイ「WMIX」350ミリリットル缶の軽量化をはじめ、合計5品目に環境対応を実施しました。	2006年度目標 環境配慮型の工夫・仕組みをもつ商品を2品目以上発売 ..... 2007年度目標 環境配慮型の工夫・仕組みをもつ商品を2品目以上発売
8	<b>環境配慮型商品の販売促進</b> 「はかり売り」新規実施10店以上 ▼ 「はかり売り」新規実施14店	<b>■「はかり売り」実施店舗数</b> 	環境配慮型商品の販売量が増加することで環境負荷が低減されます。「はかり売り」の店舗数を増やすことで、商品への容器使用量の削減に取り組んでいます。 → 新たに全国で14の酒販店様ではかり売りをはじめることができました。	2006年度目標 「はかり売り」新規実施店10店以上(全社) ..... 2007年度目標 「はかり売り」新規実施店10店以上(全社)
9	<b>営業部門低公害車導入率の向上</b> 低公害車導入率55%以上 ▼ 低公害車導入率65%	<b>■営業車両における低公害車の導入率</b> 	営業部門でも、製品物流と同様に多くの営業用車両を使用しておりCO <sub>2</sub> や大気汚染物質が排出されます。燃費の良い低公害車の導入によって環境負荷の低減を図るため、低公害車の導入率向上に取り組んでいます。 → 支社の営業車を計画的に低公害車に更新することで、低公害車導入率65%を達成しました。また日々の営業活動の中で一人ひとりが省エネ運動を実践しています。	2006年度目標 低公害車導入率70%以上 ..... 2007年度目標 低公害車導入率80%以上
10	<b>環境コミュニケーション推進</b> 「緑字企業報告書」の配布部数13,000部以上 ▼ 「緑字企業報告書」の配布部数14,668部	<b>■緑字企業報告書の配布部数<sup>※2</sup></b> 	緑字企業報告書をより多くの方にお読みいただくことで、宝酒造の環境への取り組みを消費者の皆様にご理解いただくことができると考えています。 → 「エコプロダクツ2005」などの環境イベントを通じて配布部数を伸ばし、目標を大幅に上回るすることができました。	2006年度目標 「緑字企業報告書」の配布部数13,000部以上 ..... 2007年度目標 「緑字企業報告書」の配布部数13,000部以上

※1 2004年度からは(株)トータルマネジメントビジネス、宝ネットワークシステム(株)の実績も対象にしています  
 ※2 01年度~03年度は発行部数

8:工場別サイトレポート